会員対象見学会

「田辺朔郎の足跡を訪ねて～百石斎・琵琶湖疏水記念館・日ノ岡第 11 号橋を巡る～」開催報告

1. **開催日時：**2022 年 11 月 8 日（火）13:20～17:00
2. **集合場所：**真正極楽寺真如堂総門前
3. **見学場所：**百石斎，琵琶湖疏水記念館，日ノ岡第 11 号橋
4. **参加者：**14 名
5. **概要：**

今回は, 現存する個人所有の最古の鉄筋コンクリート造建物とされている田邊朔郎の書斎「百石斎」, 琵琶湖疏水にまつわる貴重資料が所蔵されている「琵琶湖疏水記念館」, 明治期に琵琶湖疏水に架けられた日本初の鉄筋コンクリート橋とされる「日ノ岡第 11 号橋」の 3 か所を見学しました。

最初に訪れた百石斎では，田邊朔郎の孫で百石斎の管理者である田邊謙三氏に祖父・田邊朔郎にまつわる資料等を説明頂くとともに，当時の田邊家を中心とする人の繋がりについてご紹介頂きました。続いて，近畿支部設立 30 周年記念事業のひとつとして設置された百石斎調査委員会の松田好史幹事と谷昌典委員より，委員会の活動成果として，文献調査により判明した百石斎の構造形式や建物躯体の調査内容，敷地内に置かれた桂橋の石柱に関する調査結果が報告されました。続いて，琵琶湖疏水記念館に移動し，琵琶湖疏水の建設当時の図面などの資料やこれまでの歴史，役割などに関する展示物を見学しました。その後，インクラインを散策し，蹴上発電所の変遷やねじりまんぽの特徴などについて，同委員会の高橋良和オブザーバーの説明を受け，最後に訪れた日ノ岡第 11 号橋では，本橋が日本初の鉄筋コンクリート橋とされる謂れ，推定される構造形式や建設当時の姿などが紹介されました。

写真 1　百石斎での集合写真（集合写真撮影時のみマスクを外しました）

写真 2　百石斎での説明

写真 3　百石斎での説明

写真 4　日ノ岡第 11 号橋での説明

今回の見学会は，近代日本の礎を築いた土木技術者のひとりである田邊朔郎の足跡を訪ねました。午後だけで 3 か所を巡る行程であったことや，混雑したバスやアップダウンの多い徒歩移動など，見学者の皆さんにとっては大変な一日となりましたが，琵琶湖疏水に関する知識を深めることができ，さらに興味を持つ良い機会になったのではないかと思います。また，見学会では，マスク着用，人と人の距離の確保，換気の実施など，新型コロナウイルス感染防止対策にご協力を頂きました。

最後に，田邊謙三氏，琵琶湖疏水記念館には，今回の見学会を開催するにあたり多大なご協力を頂きました。ここに記して謝意を示します。

以上